

**堺市立総合医療センター乳腺内分泌外科で遺伝性乳がんの遺伝子検査を受けられた  
患者さん・ご家族の皆様へ**

堺市立総合医療センター乳腺内分泌外科（以下、当科）では、「遺伝性乳がんの罹患率と臨床病理学的特徴に関する後ろ向き観察研究」という臨床研究を行っています。そのため、当科で遺伝性乳がんの遺伝子検査を受けられた患者さんの診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会 (<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>) で審査・承認され、各機関の長の許可を得て行われます。

① 資料・情報の利用目的及び利用方法

この研究では、過去の診療記録のデータを基に、遺伝性乳がんの罹患率と臨床的な特徴を調べて、今後の遺伝性乳がんの治療とサーベイランス（早期発見のための検診）に役立てることを主な目的としています。そのため、当科で遺伝性乳がんの遺伝子検査を受けられた方を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないように匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

② 利用する試料・情報の項目

- カルテ情報（年齢、性別、診断名、生活歴、既往歴、家族歴、臨床病期、治療方法、予後や再発に関する情報）
- 各種検査結果（遺伝学的検査、血液検査、病理学的検査、画像検査）

③ 利用する者の範囲

本研究に参加する当科の医師（山村順、神垣俊二、宮村裕紀子）。近畿大学病院乳腺内分泌外科（研究責任者：菰池佳史）、近畿大学奈良病院乳腺内分泌外科（研究責任者：橋本幸彦）、大阪はびきの医療センター乳腺外科（研究責任者：安積達也）でも共同で研究を行います。

④ 資料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

近畿大学病院乳腺内分泌外科 菰池佳史

⑤ 研究対象者の求めに応じて、研究対象者の資料・情報の利用を停止すること

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。

⑥ 上記⑤の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

<研究代表機関>

近畿大学病院乳腺内分泌外科 菰池佳史

電話：072-366-0221 FAX：072-366-0221

<当院の連絡先>

堺市立総合医療センター 乳腺内分泌外科 山村順

電話：072-272-1199 (代表)

以上